

やすらぎだより

5
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第167号

「いざ グランドゴルフ」

施設長 植田 誠



昨年12月号で記した西側駐車場整備、完成したテラス付き公園が桜花のらんまんとともに動き出してきた。吹きすさぶ風があいにくの寒さを運ぶ中、4月8日のグループホーム桜まつりを皮切りに、ご家族30数名がご来園された特養4F家族交流会や今後は各種イベントが目白押しだ。そしていよいよ5月7日には、本命？「グランドゴルフ」が始動する。

皆様はグランドゴルフのことをどれだけご存知だろうか。ゲートボールとの違いもわからない私は、ルールは勿論ほぼ何も知らない。比較的高齢の方が暑さ寒さともいわず、ゴルフパターの様なクラブ（木製が主流）で旗（正確にはホールポストと呼ぶらしい）を狙っておられる姿は、少し真剣なレクリエーションとイメージしていたが、とんでもないらしい。

まず、グランドゴルフはスポーツである。それも人間を重視するスポーツだという。軽々しく‘お遊びのレク’と言おうものなら真面目なプレーヤーに叱られるので、気を付けた方が良い。

そもそも37年前に鳥取県の泊村（トマリソン）という片田舎の教育委員会が考案されたとのことだが、その発祥の地を後世に残すために「ホールポストの中にボールが静止した状態をトマリという」とルールに明記されているらしい。実に人間味溢れる決まりではなかろうか。類似するどこぞのスポーツでは「ナイスイン！」などという西洋かぶれした物言いと比較すると、実に日本的で単純明快なルールだと感じるが如何か。

その単純明快さが功を奏し、誰もが楽しむことができるスポーツとして現在360万人の愛好家がおられる。地元の中学では体育授業で実施中とのこと。そんな一般的なグランドゴルフに、私どもでは健常者ばかりではなく車椅子に乗りながらも楽しめるスポーツとして活用したい。

先日、地元スポーツ店で必要用具を購入した際、店主はこう言われた。「一度やればルールもわかり、面白さもわかります。とにかく先ずはやってみて下さい！」と。

新元号を迎えたこの5月、ウグイスの鳴く新緑7日が待ち遠しい。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 在宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連連事業
- グループホーム むつみあい
- 住まいの生活支援事業